

会議録（１）

会議の名称	平成30年度第2回飯能市水道事業運営審議会	
開催日時	平成31年1月25日（金） 開会 午前10時07分 閉会 11時10分	
開催場所	飯能市役所本庁舎5階第1・第2委員会室	
議長氏名	野田 裕康	
出席委員	野田 裕康、加藤 正幸、島田 利二、馬場 定男、 久保田 広志	
欠席委員	佐武 泰史、佐野 イチ、宮崎 こずえ	
説明者の 職 氏 名	上下水道部長 町田 靖 水道業務課長 沢田 二三男 水道工務課長 野口 敏之 水道業務課主幹 綿貫 光行	
傍聴者の数	2人	
会議次第	別紙のとおり	
配布資料	資料1：平成30年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)案総括表 ほか 資料2：平成31年度飯能市水道事業会計当初予算（原案）概要 資料3：飯能市水道事業運営審議会(平成31年度工事参考資料)	
事務局職員 職 氏 名	上下水道部長 町田 靖 水道業務課長 沢田 二三男 水道業務課主幹 綿貫 光行 水道業務課主査 細田 和穂	水道工務課長 野口 敏之 水道工務課主幹 本橋 広司 水道工務課主幹 関根 健二 水道工務課主幹 真野 昌己

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

議事（１） 飯能市水道事業給水条例等の一部を改正する条例（案）について  
事務局からの説明後、質疑応答があった。

（２） 平成３０年度飯能市水道事業会計補正予算（第２号）案について  
事務局から「資料１ 平成３０年度飯能市水道事業会計補正予算  
（第２号）案総括表ほか」の説明後、質疑応答があった。

（３） 平成３１年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について  
事務局から「資料２ 平成３１年度飯能市水道事業会計当初予算(原  
案)概要」及び「資料３ 飯能市水道事業運営審議会 平成３１年  
度工事参考資料」の説明後、質疑応答があった。

（４） その他

事務局から次の説明後、質疑応答があった。

- ・水道ポスター展について

## 会議録（3）

	開始 10:04
庶務・料金担当 リーダー	<p>委員の皆様には、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>開会前ではございますが、2号委員に変更がありましたので、報告をさせていただきます。</p> <p>人事異動により、株式会社椿本チェーン埼玉工場の宮田雅之委員に代わりまして、佐武泰史委員を委嘱させていただきました。</p> <p>なお、本日は所要により欠席となっております。</p>
庶務・料金担当 リーダー	<p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>&lt;資料確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1：平成30年度飯能市水道事業会計補正予算（第2号）総括表</li> <li>・資料2：平成31年度飯能市水道事業会計当初予算（原案）概要</li> <li>・資料3：飯能市水道事業運営審議会（平成31年度工事参考資料）</li> </ul> <p>また、委員に変更がありましたので、参考に委員名簿を添付いたしました。</p> <p>本審議会は公開を原則としております。傍聴希望者がいらっしゃいましたら撮影、録音等のご遠慮いただくということで、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし
庶務・料金担当 リーダー	<p>それでは、本日は傍聴希望者が2名いらっしゃいますので、ご案内いたします。</p> <p>&lt;傍聴希望者入室&gt;</p> <p>次に本日欠席の委員を報告させていただきます。</p> <p>佐武委員、佐野委員、宮崎委員から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>本日の会議ですが、委員8人のうち、出席者が5人であり、委員の2分の1以上の出席となりますので、審議会条例第6条第2項の規定により会議は成立いたしますことを報告いたします。</p> <p>また、会議録作成のため、ICレコーダーを使用しておりますのでご了承願います。</p>

**1 開会**

庶務・料金担当  
リーダー

それでは、ただ今から平成30年度第2回水道事業運営審議会を開会させていただきます。  
はじめに、野田会長からごあいさつを賜りたいと存じます。

野田会長

<あいさつ>

庶務・料金担当  
リーダー

ありがとうございました。  
続きまして、大久保 勝 飯能市長からごあいさつ申し上げます。

大久保市長

<あいさつ>

庶務・料金担当  
リーダー

ありがとうございました。  
大久保市長におかれましては、他の公務のため、ここで退席をさせていただきます。

大久保市長

よろしく願いいたします。  
<市長退席>

庶務・料金担当  
リーダー

それでは議事に入ります。審議会条例第6条第1条の規定に基づきまして、野田会長に議長をお願いします。

**2 議事**

野田議長

それでは、これより議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をよろしく願いいたします。  
次第に基づきまして、進行させていただきます。

議題（1）「飯能市水道事業給水条例等の一部を改正する条例（案）について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

水道業務課長

飯能市水道事業給水条例等の一部を改正する条例（案）について説明

野田議長

この件に関しまして委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。

委員

これは、下水道事業の管理者も置かないということになりますか。

水道業務課長

現在も飯能市水道事業におきましては、管理者を置かないとしております。下水道事業につきましても、ここで条例改正を行いまして、下水道事業と水道事業の設置条例として一つにしたわけですが、下水道事業につきましても管理者を置かないとするものです。

委員	<p>管理者を置かないといいますが、詳しく説明してください。</p> <p>公営企業会計の中で管理者を置かないということは、最高責任者は市長と認識していましたが、それがなくなったということですか。</p>
水道業務課長	<p>地方公営企業法におきまして、小さな水道企業につきましては、管理者を置かないことができるという規定がございまして、それに基づき飯能市におきましては、小規模ということで水道事業管理者を置かず、管理者の権限を行う市長ということで、市長が管理者の権限を行うと定めております。</p>
野田議長	<p>他になにかございますか。</p>
委員	<p>なし</p>
野田議長	<p>続きまして、議題（２）「平成３０年度飯能市水道事業会計補正予算（案）について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
水道業務課長	<p>平成３０年度飯能市水道事業会計補正予算（案）について説明</p>
野田議長	<p>この件に関しまして委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>県の補助金が生活基盤施設耐震化等の交付金が見込み額を下回ったということですが、例年あることですか。</p>
水道業務課長	<p>これにつきましては、今年で終了になります。</p> <p>また、３０年度補正で減額となりましたのは、具体的には見込んでいた交付対象が減少したため、耐震化等の交付金として県からの補助金が出回ったということです。</p>
委員	<p>下回った理由を教えてください。</p>
経理担当リーダー	<p>予算の積算時においては設計で計算しますが、その後、対象事業を申請時にその内示金額にあわせて申請しますので、それにあわせて対象の金額が減ったこととなります。</p>
委員	<p>県の補助率はどのくらいですか。</p>
経理担当リーダー	<p>補助率につきましては、４分の１となっております。</p>
野田議長	<p>他になにかございますか。</p>
委員	<p>なし</p>

野田議長	<p>続きまして、議題（２）「平成３１年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
水道業務課長	平成３１年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について、説明
水道工務課長	平成３１年度工事参考資料を説明
野田議長	この件に関しまして委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。
委員	<p>予算概要のところで１の給水収益は上水が０．５％、簡水０．１％の増加となっておりますが、２の業務の予定量は給水戸数は２８０と増えているが年間総配水量と１日平均配水量は減少となっております。減少しているのに給水収益が増加するのは、なぜですか。</p>
水道業務課長	<p>給水戸数につきましては、給水人口が減少する中で単身世帯やお年寄りだけの世帯といったものが増えているため給水戸数は増加しています。年間総配水量等の水の使用水量は、節水機器の普及や人口減少により減っております。その一方で、給水収益が増えているということですが、実質的には上水、簡水とも給水収益は減少とみております。消費税が８％から１０％に１０月から上がりますので若干の増加となります。</p>
委員	大河原の状況はどうですか。
水道業務課長	<p>大河原につきましては、平成２８年度、２９年度と若干増えておりましたが、工業団地につきましても数社操業しまして、平成２９年度に続き、３０年度につきましても使用水量が増加の傾向となっております。</p>
委員	<p>１日平均配水量２７，０３６㎡は、１人当たり１日平均すると３３８㎡になると思いますが、この数値はほぼ横ばいできていますか。傾向的には節水型社会ということですが、見込みはたてているのですか。</p>
水道業務課長	ほぼ横ばいの傾向となっております。
委員	<p>そうすると、人口が８万人をきって７万９千人くらいになっています。人口にあわせて減っていく傾向にあるとみてよろしいですか。</p>
水道業務課長	<p>人口減少に伴いまして緩やかな減少傾向にあります。また、企業など大口使用者につきましては、工業団地に操業し、それなりの水量がありますので全体からすると急激な減少はないものと考えております。</p>

委員	有収率向上対策として140kmとありますが、全体からするとどのくらいの割合になりますか。
水道工務課長	約3割強になります。
委員	そうすると、3年間で全部回っていく感覚でよろしいですか。
水道工務課長	漏水箇所が多くなったり、どうしても緊急的に実施する場所があり対応させていただいておりますが、概ね3年間で市内全域を実施していきたいと考えております。
委員	提案ですが、3年間で全域を調査することになりますが、漏水の多い路線（箇所）がわかると思います。そこを集中的に更新工事を行うとか、そういうことは考えていますか。
水道工務課長	漏水箇所や老朽化した管の布設替を重点的に進めている状況でございます。
委員	老朽管布設替事業と配水管網整備事業があり、計画的に進めていると思いますが、平成31年度の事業が終わると全体の何パーセントくらい終わることになりますか。
水道工務課長	老朽管布設替事業といたしましては、旧市街地の赤水対策を行っております。昔の铸铁管が入っている区域で赤水対策として布設替を行っており、平成31年度予定箇所を含め約82%が終わるところでございます。
委員	布設替をしたら耐震管になると考えてよろしいですか。
水道工務課長	管種ですが主要幹線につきましては耐震管、枝管につきましては耐震適合管を布設しております。
委員	平成31年度の耐震管布設事業が終了すると、耐震化率はどのくらいになりますか。
水道工務課長	平成29年度末の状況になりますが、耐震管、耐震適合管の割合は、約23%となっております。
委員	平成30年度から24時間監視の体制で業務委託を実施し、平成31年度についても見込んでいますが、そうなるとコストは年々上がっていくという考えでよろしいですか。
水道工務課長	ほとんどが人件費になりますので、一般に定めている単価で積算することになります。人件費の単価の変動により若干変わってくるものが考えられます。

野田議長	他になにかございますか。
委員	なし
野田議長	続きまして、議題（3）「その他」について、事務局からありますか。
庶務・料金担当 リーダー	事務局から水道ポスター展について報告
野田議長	「その他」について、事務局から説明がありました。質問やご意見等はございますか。
委員	水道ポスター展、つまり水道を皆様にお知らせする活動というのは、地方自治体の不得意とするところだと思います。もっと積極的に行っていただければと思います。
野田議長	他に何かございますか。
委員	最近雨が降らないことが気になっています。有間ダム水位はどのくらいになっていますか。
上下水道部長	有間ダムの貯水量は、昨年、秋の台風がありましたので、現在はほぼ満水の状態となっております。ダムからの配水量が少ないという事で、河川は水量が少なく感じます。
委員	<p>荒川上流のダムは貯水率が100%を超えていますが、利根川水系がだんだん下がっていて、平成6年か平成9年の冬の渇水に匹敵する落ち方をして2万5千トンをきる状況です。このまま続けば冬渇水の恐れがあると思います。県から話はまだないと思いますが、その中で飯能市水道事業として、市長さんの挨拶にあったように、危機管理として水道は常に備えていないとなりません。どのくらいの影響があるかわかりませんが、常にアンテナをはって、ダムの状況や県の対応について把握しておいた方が良いと思います。</p> <p>それから、埼玉県の中なかでは、水道の形は東京都と違って二元化され、県が水の供給を行ってその水を各市町村が受けています。飯能市は特別で有間ダムを持っています。そのバランスを考えていた方が良く、県の水がくる中で「水安全計画」を各水道事業者が作成していますので、是非、水安全計画を飯能市独自で作成するのではなく、県と連携をとっていただきたい。水道とは蛇口からその後までつながっていて浄水は県の役割で、市はその水を受け配ることになります。飯能市は自分でも水源をもっていますので、その水質を一定のもの、同レベルのものになる水安全計画を作っていただきたいと思います。</p>



委員	飯能市は特別に水源をもっているということは、他の埼玉県内の自治体は水源をもっていることは少ないということですか。
委員	ダムを持っている自治体は少ないです。ただ、地下水を持っているところがあります。地下水も昔はきれいでしたが、場所によっては汚染されてなかなか使いづらいところもあります。飯能市は有間ダムという素晴らしい水源をもっていますので、その水源をバランスよく利用するべきだと思います。過去に有間ダムだけ湧水になって、そのバランスが悪く、県の中で飯能市のみ給水制限を受け、プールが使用できない事例がありました。
上下水道部長	冒頭、市長が申し上げましたとおり、冬湧水につきまして入間川本流については問題ないのですが、未給水地域につきましては、沢の水が枯れて水がない状況で、給水車を出動する事案がありました。水源の監視につきましては、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。また、ダムの件につきましても県と連携をとりながら、しっかりとした対応をとっていきますのでよろしくお願いします。貴重なご意見ありがとうございました。
野田議長	他にありますか。
委員	県水はどのくらいもらっているのですか。
上下水道部長	現在、県水の受水量ですが、日量が4,000m <sup>3</sup> で飯能市の全体の水の占める割合からすると、約14%になります。
委員	県水を使わず有間ダムだけでかなり間に合うということで、湧水した時には使用量によって県水をもらえるのですか。比率が約14%ですが、これを20%、30%にすることができるのですか。
委員	県の立場としては、湧水が起きたときに皆さんの給水の上下バランスがずれてはならず、自己水を持っている割合に応じ、住民の方が同じ量を取れるよう、どのくらいの割合の県水を下げることができるかアンケートを取り、この地区については5%なりの平等な割り振りをします。ただ、県水100%のところはなるべく下げないようにして、一人一人の住民の方が平等に水を受けられるような配分をしています。
委員	堂平の方で山林火災が発生しているようですが、消火する水はどうですか。
上下水道部長	昨日、県からの話で防災へりにタンクを付け、消火に有間ダムの水を汲ませていただけないかと、問い合わせがありました。実際に実施したかどうかはわかりませんが、問い合わせはありました。

野田議長	他に何かございますか。
委員	なし
野田議長	よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして本日の議事は全て終了しました。これをもちまして議長の職を解かせていただきます。委員の皆様、長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。
	<b>3 閉会</b>
庶務・料金担当 リーダー	野田会長、議長の職、ありがとうございました。 委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、貴重な意見等を賜りまして、誠にありがとうございました。 来年度も今年度同様の開催を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。 それでは、閉会のことばを馬場副会長お願いします。
馬場副会長	以上をもちまして、第2回飯能市水道事業運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。
	閉会 11:10

議事の内容・概要を記載し、相違ないことを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

会長氏名 \_\_\_\_\_